

【研究課題名】 860 アスペルギルス菌塊塞栓による気管支チェックバルブを生じたと考えられる症例

【実施責任者】 集中治療部 准教授 井上 聡己

【実施分担者】 麻酔科学教室 医員 松浦 秀記
麻酔科学教室 教授 川口 昌彦

【研究の意義】

症例を通じ気管支チェックバルブに対する対処を考察することは意義が大きい

【研究の目的】

アスペルギルス菌塊塞栓による気管支チェックバルブを生じたと考えられる症例を報告すること

【研究の方法】

アスペルギルス菌塊塞栓による気管支チェックバルブを生じたと考えられる症例を報告し考察する。

【研究機関名】 奈良県立医科大学 麻酔科学教室

【個人情報の扱い】

個人を特定できるような方法で発表しない。

【本研究に関する問い合わせ先】

研究責任者：麻酔科学教室 井上 聡己

〒634-8522

奈良県橿原市四条町 842

TEL 0744-22-3051